

令和7年度 教科名等	国語科										
	科目名	対象学年	対象クラス						単位数	分類	予定時数
	古典探究	2	A	B	C	D	E	F	3	必修	105 時間

教科担当・教材等	
授業担当者名	
教科書	『高等学校 精選古典探究』(第一学習社)
使用教材等	『改訂3版 完全マスター古典文法』(第一学習社)、『古典文法 完全マスターノート助動詞編』(第一学習社)、『わかる・読める・解けるKey&Point古文単語3303訂版』(いいずな書店)、『新国語総合ガイド5訂版』(京都書房)、『必携新明説漢文』(尚文出版)、『必携新明説漢文シリーズ基本練習ノート』(尚文出版)、『古典の演習2』(啓隆社)

科目の目標	
学習目標	【知識及び技能】 ・生活にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

年間授業計画			
学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	A 単元名 「小式部内侍が大江山の歌の事」(古今著聞集) 【知】本文中の用言や助動詞などの文法事項や古文重要語句の意味を理解する。 【思】現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をする。 【感】和歌に込められた小式部内侍の思いを読み取り、それに対する自分の意見を深めようとする。	A「小式部内侍が大江山の歌の事」(古今著聞集) ・用言や助動詞などの文法事項 ・平安時代の生活について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】本文中の用言や助動詞などの文法事項や古文重要語句の意味を理解しようとしている。 【思】現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしようとしている。。 【感】和歌に込められた小式部内侍の思いを読み取り、それに対する自分の意見を深めようとしている。
	B 単元名 「呉越同舟」(孫子) 【知】訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直す際のきまりを理解する。 【思】「知音」の意味を調べ、本文のどこに由来しているか考える。 【感】現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めようとしている。	B「呉越同舟」(孫子) ・漢字の意味や句法 ・故事成語の由来や意味と、現代の言葉とのつながりについて ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】訓点に従って漢文を読み、書き下し文に直す際のきまりを理解しようとしている。 【思】「知音」の意味を調べ、本文のどこに由来しているか考えようとしている。 【感】現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深めようとしている。
	C 単元名 「方丈記」 【知】本文中の助動詞や古文重要語句の意味を理解する。 【思】当時の時代背景を踏まえ、筆者が本文で述べようとしている内容を考えようとしている。 【感】筆者が抱えている人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めようとしている。	C「方丈記」 ・助動詞や古文重要語句 ・鎌倉時代のものの見方について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】本文中の助動詞や古文重要語句の意味を理解しようとしている。 【思】当時の時代背景を踏まえ、筆者が本文で述べようとしている内容を考えようとしている。 【感】筆者が抱えている人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深めようとしている。
	D 単元名 「忠度の都落ち」(平家物語) 【知】音便について理解する。 【思】忠度のおかれた状況および俊成を訪ねてきた理由を読み取り、根拠とともに表現する。 【感】俊成と忠度の人物像について自分の考えを深めようとする。	D「忠度の都落ち」(平家物語) ・音便などの文法事項 ・武士の価値観について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】音便について理解しようとしている。 【思】忠度のおかれた状況および俊成を訪ねてきた理由を読み取り、根拠とともに表現しようとしている。 【感】俊成と忠度の人物像について自分の考えを深めようとしている。
	E 単元名 「中国の詩」 【知】漢詩のきまりについて理解する。 【思】詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを思考している。 【感】古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉え、自身の考えを広げようとしている。	E「中国の詩」 ・漢詩のきまりについて ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】漢詩のきまりについて理解しようとしている。 【思】詩の情景や、作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを思考しようとしている。 【感】古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉え、自身の考えを広げようとしている。
2	F 単元名 「嫉捨」(大和物語) 【知】和歌の技法を理解する。 【思】歌を詠むに至るまでの男の気持ちの変化を、展開に即して整理している。 【感】和歌の詠まれた事情を語る、散文性や叙情性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知ろうとしている。	F「嫉捨」(大和物語) ・和歌の技法について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】和歌の技法を理解しようとしている。 【思】歌を詠むに至るまでの男の気持ちの変化を、展開に即して整理しようとしている。 【感】和歌の詠まれた事情を語る、散文性や叙情性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知ろうとしている。
	G 「鴻門之会」(史記) 【知】句法の意味・用法を理解する。 【思】文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をする。 【感】登場人物の性格や人柄を読み取り、理想のリーダー像について自分の考えを深めようとする。	G「鴻門之会」(史記) ・漢字の意味や句法 ・項羽と劉邦について ・教材 教科書、プリント	【知】句法の意味・用法を理解しようとしている。 【思】文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしようとしている。 【感】登場人物の性格や人柄を読み取り、理想のリーダー像について自分の考えを深めようとしている。
	H 「四面楚歌」(史記) 【知】本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解する。 【思】文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をする。 【感】詩にうたわれた項羽の心情について読み取り、それに対する自分の考えを深めようとする。	H「四面楚歌」(史記) ・漢字の意味や句法 ・項羽と劉邦について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解しようとしている。 【思】文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしようとしている。 【感】詩にうたわれた項羽の心情について読み取り、それに対する自分の考えを深めようとしている。
	I 「花山天皇の出家」(大鏡) 【知】『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解する。 【思】語り手の設定が特殊である理由を『大鏡』で記述されている時代背景から思考している。 【感】歴史物語というジャンルにおける『大鏡』の独自性について自分の考えを深めようとする。	I「花山天皇の出家」(大鏡) ・助動詞や敬語などの文法事項 ・歴史物語について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解している。 【思】語り手の設定が特殊である理由を『大鏡』で記述されている時代背景から思考している。 【感】歴史物語というジャンルにおける『大鏡』の独自性について自分の考えを深めようとしている。
	J 単元名 「光る君誕生」(源氏物語) 【知】『源氏物語』の概要や特徴について理解する。 【思】登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取り、その内容を表現する。 【感】光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを深めようとする。	J「光源氏の誕生」(源氏物語) ・助動詞や敬語などの文法事項 ・『源氏物語』について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】『源氏物語』の概要や特徴について理解している。 【思】登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取り、その内容を表現しようとする。 【感】光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを深めようとしている。
3	K 単元名 「若紫」(源氏物語) 【知】本文中の助動詞や敬語の意味や用法について理解している。 【思】和歌の「若紫」「露」が何を表しているかに留意して考えようとしている。 【感】人物の感情を踏まえそれぞれの心情を読み取り、自分の考えを深めようとしている。	K「若紫」 ・助動詞や敬語などの文法事項 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知】『源氏物語』の概要や特徴について理解している。 【思】登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取り、その内容を表現している。 【感】光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか、自分の考えを深めようとしている。
	L 単元名 「性善」(孟子) 【知】儒家の思想と主な思想家について正しく理解する。 【思】それぞれの思想家の強調・重視していることを読み取り、表現する。 【感】儒家の教えについて、そのような考え方が生まれた背景について、自分の考えを深めようとする。	L「性善」(孟子) ・漢字の意味や句法 ・儒家や道家の思想について ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。